

## ■平成26年8月11日 文教くらし委員会県内調査

### 1. 奈良県立山辺高等学校（奈良市都祁友田町）

【調査目的】 高等養護学校の分教室設置計画等について

【調査概要】 山辺高等学校における取組内容の説明を受け質疑の後、現地調査を実施

#### <山辺高等学校における取組内容の概要>

- ・本校の在籍者数は、1年次、2年次が学科再編による普通科と生物科学科、農業科。3年次だけが総合学科。
- ・昨年度から地域と共にある学校づくり、スーパーサイエンスハイスクールの連携、チャレンジプログラムなど、地域と密接した取組みをしている。
- ・生物科学科、この学科が分教室の方で高等養護学校の生徒と共にする授業である。主に農業の授業が中心になるかと考えている。セラピー犬が2匹おり、授業の中でしつけや、愛玩動物を通しての授業を取り入れている。
- ・茶摘みについては、生物科学科の生徒だけではなく、本校入学生1年次が5月頃に、1年全体で茶摘み実習を行っている。
- ・クラブ活動については、少人数ではあるが一生涯懸命取り組んでいる。高等学校のクラブでは数少ないライフル射撃部と馬術部がある。
- ・高等養護学校の分教室だが、平成27年度に入学する生徒が2年次から本校に来るということで、順次増えていく。30人程度4クラスという形で予定されている。授業内容も農業科の先生と養護学校高等の先生方と相談して決めていく形になると思う。それ以外にも、行事、部活動、できるだけ本校の生徒といろいろなコミュニケーションをとり、お互いに成長していけるような場になればと考えている。

#### <質疑応答>

Q：下校時のバス通学の状況は？

A：天理方面は学校から出るバスが、午後5時台と7時台、各3本。今までは国道針の方まで歩かなければならなかったが、路線バス扱いということで、学校の敷地内で天理方面はバスが出る。榛原方面は、学校を出て10分ほど歩くと友田というバス停がある。

Q：友田からバスに乗る生徒は大体何人くらい？

A：クラブをせずに出る一斉下校のバスは、榛原方面、山添方面、天理方面の各3方面とも学校敷地内から出る。クラブ活動をしている生徒は、バス以外の通学方法も多いので帰りの遅い時間のバスの利用は全体の数からすれば、それほど多くはないと思う。



## 2. 奈良県立大和広陵高等学校（北葛城郡広陵町）

【調査目的】 特色ある教育の取組について

【調査概要】 大和広陵高等学校における取組内容の説明を受け質疑の後、現地調査を実施

＜大和広陵高等学校における取組内容の概要＞

- ・本校は一人一人を大切にする教育を基本とする高田東高等学校と、生涯スポーツコースに代表されるスポーツ・健康教育の実践を核とする広陵高等学校を再編統合によって、平成17年4月に普通科と生涯スポーツ科を併せ持つ学校として開校した。
- ・現在各学年、普通科5クラス、生涯スポーツ科1クラス、全体で18クラスの学校規模となっている。専門学科生涯スポーツ科はトップアスリートの育成、及び将来の体育、スポーツ指導者やトレーナー等、生涯にわたってスポーツ活動に関わっていく人材の育成を目指している。
- ・運動部活動は、スポーツを通しての人づくり、このスローガンをもとに、本校では10の運動部がある。
- ・生涯スポーツ科を中心として、生徒会、家庭クラブの生徒たちが、地域との交流、協働に積極的に取り組んでいる。幼稚園との交流では園児の体操教室、正月遊び、マラソン大会のお手伝いなど幼児の体力向上を支援している。小学校での交流では、体力テストでのサポート、小学校への出前事業はじめ本校のレスリング場を開放し、専門的指導者のもとで、幼児、小学生を対象としたレスリング教室を開催している。また町内のスポーツイベント、たとえば町民体育大会、マラソン大会での運営の手伝いをしている。
- ・学校は広大な敷地の中にあり、恵まれた2つの体育館、屋外プール、レスリング道場、ダンスルーム、シャワー付きのクラブハウスなどがある。

＜質疑応答＞

Q：幼稚園との交流、小学校との交流は地元にある幼稚園をテスト的に利用されているのか、それとも近隣にある幼稚園と交流をしようとしているのか？

A：以前から広陵北幼稚園の幼児の色々な交流を行っていた。本年度はそれに範囲を広げようということで、協議会を立ち上げて、三宅町、河合町の方々も入り、順次計画を立てている。

Q：このようなものが必要である、不足しているといった点はどうか？

A：当校の運動部全てが環境はもちろん大切な要素だと思うが、やはり指導者だと思っている。ただ単に体を鍛えるだけで子どもは伸びるかと言えば、決してそういうものではない。子どもたちへの愛情、それをどれだけ注いで、自ら指導者として子どもに見せるべき点を見せながら子どもたちと毎日毎日共に時間を過ごす、そういう指導者を整えていただいている状況なので、その線をこれからも崩さず、教員の配置にご配慮いただけたら有り難い。

